



内膳町

自治会通信

《第4号》

自治会広報係
発行責任者 堀本文男
平成22年8月発行

地縁団体
内膳町自治会

堀本会長の続投を承認

更なる改革を目指し二期目へ！！

通常総会報告《6月27日（土）》

H22年度 地縁団体

内膳町自治会役員

役職氏名

会長 堀本文男

副会長 上田 剛

副会長 下田 吉美

会計 田中 眞幸

会計 福井 喜房

理事 浦野 真二

理事 黒松 淳児

理事 丸谷 隆久

理事 杉井 喜代秀

理事 玉岡 伸泰

理事 武嶋 誠二

理事 神所 孝

理事 小柳 和彦

理事 平岡 才治

理事 増田 俊

監査 森澤 一

員外監査 北岡 忠義

相談役 杉井 康夫

顧問 田中 博

平成二十二年度地縁団体内膳町自治会（以下自治会・個人は役職）通常総会は六月二十七日（日）午後一時半から大和信用金庫三階・大会議室において行われ、関係者の出席は無く自治会「自立型」の総会となりました。自治会会長自ら議長として、進行係りを務めるという前例の無い方式で議事が進行。上程された議案はすべて承認。午後四時前に終了しました。尚、任期満了に伴う役員の改選は、役員会が推薦した堀本文男氏が承認され前期に続き会長に就任しました。

平成22年度 通常総会・議案

議事内容

- ① 平成21年度事業報告
- ② 平成21年度収支決算報告
- ③ 規約一部改正案
- ④ 平成22年度事業計画
- ⑤ 平成22年度収支予算案
- ⑥ 地縁団体の役員改選
- ⑦ その他

定刻の一時半、司会の上田副会長が資格審査を報告、総会の成立を宣言しました。最初に堀本会長が挨拶。十ヶ月間の取り組みを報告するとともに、更なる改革の必要性を訴えました。続いて、来賓代表として、杉井市会議員が挨拶に立ちました。杉井議員は「その中で、一懸案事項となつています。駐車場の運営及び管理を市に委託する案件は、あともう少しの説明が必要で

す。出来るだけ早い時期にまとまるよう鋭意努力します」と、六月二十五日に終了した定例市議会の報告をされました。この件は七月二十九日の臨時議会でも可決されました。別項で掲載。

議事の開始に際し、一任を受けた上田副会長が、進行役の議長に堀本会長を指名。続いて、議長が書記、議事録署名人（各2名）を指名し、議事に入りしました。

自治会会長が議長を務める方式に「会長発言と、議長発言が混同されるのでは」との質問がありました。議長が「それについて、昨年の総会から今日に至るまでの一連の経緯を誰よりも知る自治会会長が、総会の進行役に最適」との役員会での要請に応え、会長自ら議長に就任した背景がありました。

会長は二期二年まで

総会に上程された議案は別表の6議案です。最初に前年度の事業報告（1号議案）と収支決算（2号議案）が承認。続いて、3号議案の規約の一部改正案（役員改選の任期に関する改正案）が承認されました。会長職の長期留任は将来、馴れ合いが生じ、運営に支障をきたすことが懸念される。として、その防止の為に「二年」と定められました。事業予定（4号議案）

次に、二十二年年度の事業予定（4号議案）

ならびに二十二年予算案（5号議案）が承認されました。尚、質疑の中で、共有財産の明示、共有金の使い方に関する質問、要望がありました。最後に、6号議案として、役員改選（会長）が議場に諮られました。司会者一任の発言を受けて、上田副会長が役員会の総意として、堀本会長を推薦する旨を述べ、拍手で承認されました。それにより、前期に引き続き堀本氏が自治会会長に就任。二期目がスタートしました。

駐車・駐輪場・榎原市会条例・予算可決九月オープンへ
六月の定例市議会において「説明不足」などの理由により、継続審議となっていた「八木駅前南駐車・駐輪場」の運営に関わる条例の一部改正案が、七月二十日に行われた厚生常任委員会でも可決されました。そして、七月二十九日に開催された臨時議会において「榎原市自転車条例及び榎原市駐車場条例の一部改正」並びに「一般会計補正予算案」「駐車場事業特別会計補正予算案」などの関連議案が可決されました。

賃貸契約は、八月一日からとなります。駐車・駐輪場は市の近鉄八木駅前南広場の整備計画の一環として、地縁団体内膳町自治会が建設しました。少し長く掛りましたが九月オープンに漕ぎ着ける事が出来ました。

防災会だより

最近町内の所どころで「消火器箱（写真）」を見かけられると思います。内膳町防犯会では、自主防災設備の第一弾として町内の各区に消火器箱を設置しました。

平成二十一年度及び、二十二年予算で、消火器を二十九本購入。七月上旬、役員が消火器箱及び本体に「内膳町防災会」ネームの添付作業を行いました。それと同時に、自治委員の皆さんに各地区での設置場所の選定を依頼。七月末、設置作業が完了しました。わずかな本数ですが、消火器は初期消火に欠かせない器具です。人の目に触れる事が、地域の防火、防災意識の向上に繋がる事を願っています。今後も年次、本数を増やして行く予定です。



救急救命講習会開催

人が倒れてしまった場合、救急車が到着する迄に行う応急処置の基礎知識を学ぶ「救急救命」に関する講習会が、八月二十一日（土）約三十名が参加し「すみれホール」で行われました。中和広域消防団・榎原第10分団女性消防団・4名が来館。呼びかけ、人工呼吸、気道確保、AEDの取り扱い等の初期処置を、実技を交えて指導して頂きました。

内膳町秋祭り

地縁団体内膳町自治会（以下自治会）では町おこしの一環として年度行事に組み入れていく「秋祭り」の実施について、7月中旬、みこしが保管されている「内膳春日神社」の関係者と協議を行いました。結果、同神社の秋の例祭（十月二十三日・二十四日）に日程をあわせ、「内膳町秋祭り」を行うことを決定。七月末、実行委員会を立ち上げ、委員長に堀本自治会会長が就任しました。

祭りのメインイベントとして、子供みこしの町内巡行と、伊勢大神楽の奉納が決定、神社を主会場として展開されます。自治会としては、地域に広く協力を呼びかけ準備を進めます。



◆「内膳春日神社」を「お宮さん」と言うのが、慣れ親しんだ言い方です。この町で育つた多くの方が「お宮さん」に繋がる「子供の頃の思い出」を持たれていると思います。

今回の「秋祭り」は、子供達への「思い出作り」と、催しを通じて「神社」に親しみを持つってもらう事。また、それを支える大人たちの協同作業による親睦、連帯感の充実が目的です。実施日は、神社の秋の例祭へ十月二十三日宵宮、二十四日・本祭りへにあわせ二日間行います。

自治会では、七月三十一日、八月八日の両日「秋祭り実行委員会」をすみれホールにおいて開催しました。

◆三十一日は、主として自治委員、神社講関係者の皆さんに集まっていたきました。名称、日程等の確定事項が報告された後、具体的な実施内容の協議に入りました。出席者から其々「子供みこし」や「秋祭り」についての考えが述べられました。特にみこしの巡行については、子供の参加人数、巡行に伴う届け出、交通整理等々課題が多いため議論が集中するところとなりました。

意見の出揃った後、実行委員長に堀本自治会会長を選任。委員長が「地域の各種団体、個人に広く協力を要請する」「企画、交通、祭事など、専門部を立ち上げ準備を進める」などの方針を示

◆八日の委員会は、前述の団体に加え、老人会、婦人会、PTA、民生委員の方々が出席。約四十名による拡大委員会となりました。会の冒頭、委員長が挨拶「町おこしの一環として『秋祭り』を実施します。地域が連携し一歩一歩充実させて頂きたい」と出席者に協力を要請しました。

委員会の方針に沿い直ちに財政、企画、交通、祭事、広報の五部門の担当が決められ部門別の打ち合わせが行われました。地域の協力で『秋祭り』を定着させ内膳町の『風物詩』に育てたいものです。

“大神楽”の思い出

「お宮さん」と言われて、真つ先に浮かぶのは、毎年、九月一日に境内で行われた「伊勢大神楽」の催しです。（森澤宮司さんによると、もう来なくなつて二十数年経ちます）との事、一日は小学校（二学期）の始業式。登校途中に馴染みの家々を訪れる一行を見かけます。神楽の舞いに合せて奏でる笛や鈴の音が「昼から、お宮さんへ来なさいよ」と聞こえます。下校の鐘（サイレン?）待ち遠しかつたものです。娯楽の少なかつた時代、大神楽の団員の皆さんが演じる「皿回し」や「軽業」といった曲芸が、どれ程私（達）を楽しませてくれた事か、五十数年経つた今も懐かしく思い出されます。関係者の熱意が実り、久々に「大神楽」がお宮さんへやつてきます。

どうか、子供達が思いっきり楽しんでくれる事を願っています。子供の頃の感動の記憶は、いつまでも心に残る宝物です。いつか、この子供達が次の世代へ、その「思い出」を申し送つてくれる事でしよう。

雨の中の奮闘 飛鳥川清掃作業

雨で一週間の飛鳥川堤防清掃作業が、（土）三十加し小雨の行われまゝ秋（十一）の枯れ草と

雨装備の作業でした

成長盛り夏草は強く
て重い。その上、水
を含んだ放棄ごみの
回収は、作業をてこ
ずらせます。約一時
間、悪条件下での奮
闘が続きました。

作業終了の合図に
ホット一息したのも
束の間。上田副会長
の「お疲れさまでし
た」の言葉の終わる
のを待つていたかの
ように、雨脚が強雨
に。お互いの労をね
ぎらう言葉もそこそ
こに、慌ただしい帰
路となりました。



諦聴寺のご住職に読経をあげていただき、自治会及び大師講関係者ら十数人が参列し、お参りをいたしました。

地藏菩薩（お地藏さん）の「祭一地藏盆」が、七月二十三日（金）に営まりました。お地藏さんの飾り付け、お供え物、提灯の飾り付けなどは、日頃、お世話をしておられる内膳大師講の皆さんがされました。午後一時からは、